

地域連携推進会議議事録

「ケアホーム・タイム わかば」

2025.12.3(水)10時～12時

わかば・さくら施設内にて

1.開会挨拶・・・・・若林理事長

事業の趣旨説明・事業運営への協力・理解のお礼

2.出席者の紹介 理事長含め8名参加

自己紹介 久喜市障がい福祉課(Kさん)・久喜市基幹相談支援センター(Kさん)・元自治会長(Aさん)・利用者の保護者(Sさん)・利用者(Yさん)・業務執行理事(Fさん)・管理者(Hさん病欠)・サビ管(Kさん)

3.施設の運営状況

- ・法人の成り立ちとホームの特徴・・・・・・理事長
タイム親の会立ち上げからNPO法人～現在の社会福祉法人に至るまでの歩みを資料Aに沿って搔い摘んで説明
- ・利用者の日常生活の様子を報告・・・・・・サビ管
資料Bを確認しながら普段の利用者の様子を細かく時系列で説明
(資料Bに関しては、個人情報が入っていたので資料を配らず説明のみ)
- ・支援者の働き方・様子・・・・・・・・・・サビ管
ケアホームの役割と1日の流れを資料Cに沿って説明
わかばとさくらでは、利用者の障害区分が大きく違うので、(わかば区分5or6で全員強度行動障害である・さくら区分4or5で他害物損はほぼいない)人員も多く配置している旨説明
- ・虐待・事故・ヒヤリハットなどの具体例・・・業務執行理事
まず、わかばのヒヤリハットでは、薬の飲ませ忘れや飲み込むまでの確認ミスを取り説明・ヒヤリハットは、3日以内に報告しその後検証し対策を全員に周知する旨説明
また、虐待に関しては、最近の事例を話し、特に夜勤者一人の時に虐待と

までは言えないが、不適切支援があり久喜市幸手市に報告した事例を説明
リビングや廊下にモニターを設置し検証・確認などに役立っていることを話した

- ・経営状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 理事長

利用者の生活費は、ほぼ頂いている利用料で賄っていますが、2棟目のさくらを建設の際借り入れている分は、本部から補填している形でギリギリの運営です。

- ・BCP・災害対策等 ・・・・・・・・・・・・ 業務執行理事

BCP・災害に関する資料を各委員に回して確認してもらい。
わかばでの避難場所・避難経路などを話した

4.質疑応答

各項目ごとに質問を募りましたが、特にありませんでしたが、以下
最後の BCP に関しては、元自治会長から、六万部地域は、水害に関しては、心配ありませんよ。特に道を隔てた向えの香最寺辺りは土地が高いです。また、災害等で食料に困ったときは、野菜や米は、ありますから、どうぞ遠慮なく言ってくださいと仰ってくださいました。

久喜市障がい者福祉課からは、虐待の話の時に利用者・支援者のためにもサービス計画書にきちんと明記し・身体拘束の同意書を頂いておいたがほうが良いですよと言われました。

すでに、そのとおりにしていますが、身体拘束がなくなるように支援の見直しをしていますと答えました。

5.閉会挨拶

わかば・さくらの施設内見学